



〈新任幹部寄稿〉 着任のご挨拶

出雲農林振興センター
所長 立石道博

この4月の異動で出雲農林振興センターに参りました立石です。よろしくお願いいたします。地方機関の勤務は川本、安来・能義、益田地域について、この出雲は4番目となります。

地域にはそれぞれの農林業が展開され、そこならではの営農と地域特産物の生産があります。しかし近年、その生産も総体的に伸び悩んでおります。本県では昭和54年の農業生産額1022億円をピークに減少傾向となっております。県の生産額の約1/4を占める出雲もその例外ではありません。

いつも時代は絶えず変化しており農林業もその中で展開されております。農産物は最早一國のなかだけでの流通でなく世界を巡る時代、また効率的・効果的な面に加え自然に優しい環境保全となる生産基盤づくり等が求められる時代。そして昨年末に出された米政策改革大綱や継続するWTOの農業交渉を見ても、農業政策もこれまでの生産・流通・価格対策だけでなく、農業経営安定対策にシフトしつつあり、そのスピードも考えている以上に加速化されようとしております。

しかし時代が如何ように変化しても農業を営む人及び地域の人々が、農業から享受する豊かさは変わってはならないものです。

現在、当農林振興センターでは、市町村、農協等と連携をとり「**ガッツと知恵袋で創るだんだん農業＝出雲圏域新農業・農村活性化プラン＝**」の展開を図ってきております。

掲げております出雲の「だんだん農業」は「ずんずん良くなる出雲農業」であり、「ありがとう出雲農業」でもあります。言い換えれば、農業者が農業をされていて良かったと言えることであり、また隣の人・集落・地域・社会から出雲の農業が在って良かったと言って頂ける農業であります。

こうした観点から、次代の出雲農業の担い手の確保、米、ぶどう、柿、花卉等の地域特産振興、また生産基盤の整備等の推進に当たっても「在って良かった！」とお互いに喜んで頂ける取り組みをして参りたいと考えております。

今年の本県農林水産部の公共事業部門予算は、昨年の15%減の約427億と予算を一つ見ても農業を取り巻く状況には厳しいものがありますが、ただ厳しいと言うことでなく、ここは、みんなで頑張って知恵と元気を出していくことが大切と考えております。特に各種基盤整備をはじめ農山村の振興の様々な面で島根県建設業協会出雲支部の皆様のご卓越した創造性と技術力、実行性が必要であり、出雲地域農林業の発展に向け一翼を担っていただけるものと期待致しております。

最後になりましたが、島根県建設業協会出雲支部の益々の発展と会員の皆様のご健勝を祈念し、新任の挨拶とします。



〈新任幹部寄稿〉 着任のご挨拶

出雲土木建築事務所
所長 門脇 廣

この度の異動によりまして、出雲土木建築事務所長に就任いたしました門脇です。出雲管内は平成6、7年工務一課長として勤務しまして、今回が2回目です。よろしくお願いいたします。

島根県におきましては、国、地方の厳しい財政状況下、今まで依存してきた国庫補助金、地方交付税等に期待することが困難であることから、健全な財政基盤を構築するため、昨年12月「財政健全化指針」を策定いたしました。

健全化の主な方策として、

①行政の効率化・スリム化……職員定員の削減、給与カット、外郭団体の見直し等

②公共事業費の削減、大規模プロジェクトの見直し等を挙げております。

しかしながら、島根県におきましては、道路、河川、下水道等、安全安心な暮らしを支える社会基盤の整備が遅れており、公共事業の質的改善を図るため、

①**公共事業評価システム、1.5車改良等のローカルスタンダードの導入等による重点的・効率的な整備**

②**PFI方式の導入等の住民参画の促進による効果的な事業実施**

また、公共事業の削減が地域経済に大きな影響を及ぼすことから、建設産業対策として、

①経営基盤強化、経営合理化支援

②新産業分野進出支援

③県内業者優先の徹底

を図り、県内建設産業への影響をできるだけ緩和したいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

一方で、地方分権推進法に基づく市町村合併の動きも本格化するなかで、地方が個性を持って自立し、公正な地域間競争力を確保するための新市町村建設計画が策定されることとなります。

このような厳しい経済環境の下で変革に対応していくためには、行政、民間、住民が情報を共有し、各々が知恵を出し、地域づくり、まちづくりに参画していく必要があると思います。

今後とも地域経済、地域の発展に重要な役割を担っておられます協会の皆様と連携を図り、良質で地域住民から信頼される社会資本の整備を進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、島根県建設業協会出雲支部の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念して、新任のご挨拶とさせていただきます。

〈新任幹部寄稿〉

安全・安心の灯火

出雲警察署

署長 村川 義行

島根を旅する人は、自然がいかに明るく、穏やかな雰囲気にも包まれて、失われつつある古き良き風物が残っており、空気も水も清らかであると賛美してくれます。

このように美しい風土は、古代の物語を豊かに受け継いで、しっとりとした感情をたたえています。

県の東部を占める出雲地方は、数々の神話に彩られ、かつては出雲王朝とも呼ばれる文化圏を築きあげていました。

このことは、荒神谷の丘陵から驚くべき大量の青銅器群が発掘されたことで事実として証明されました。

出雲地方は、まさにこのような繁栄を背景に築きあげられ、現在も古い文化と伝統がその気風をとどめ受け継がれています。

警察署長に就任し、この地の安全・安心を確保する責務の重さを痛感いたしております。

人が生きていくうえでもっとも大切なものは、安全、それも何の不安も抱かせない安心できる安全が求められる。

当然ながら、その安全・安心の社会づくりは、まずもって、人々の日々の生活の場に求められる。

誰にも他の人および社会に危険を及ぼす権利はない。したがって、社会には他に危険を及ぼす行動にできることを抑止するシステムを必要とする。

そして、人は危険から守られる権利をもつ。そのための守りのシステムが社会には備えられていなければならない。

幼児・子供など自己防衛能力の弱いものには、その弱さに応じて危険からの守りのシステムを必要とする。

人が生きていくうえで最も大切なものは、安全なのだから、それら守りのシステムは、社会に広く構築されていかなければならない。

いわゆる躰や社会人教育の基礎も、自他の安全を守り、かつ、脅かさないことを、対人関係と公共の場における行動原理として確立していくことにある。ルールやマナーの型づくりの基礎も、ここにあると考えております。

古来、日本に伝統と文化として根づいていた「良心の掟」

- ・人に優しくあれ
- ・正直であれ
- ・約束を守れ
- ・弱いもの苛めをするな
- ・卑怯なことをするな
- ・人に迷惑をかけるな

をここに、再発信してまいりたいと考えております。どうか絶大なるご支援ご協力を賜りますよう切にお願いいたします。

末筆になりましたが、貴協会のますますのご発展と御会員皆様のご隆盛、ご多幸を衷心よりお祈り申し上げます。

いよいよ「電子入札」が始まります。

国土交通省では平成15年4月21日より、国土交通省地方整備局等が発注する建設工事及び建設コンサルタント業務等の全てを対象に電子入札が開始されました。

また島根県においては、この3月末に「島根県CALS/EC整備基本方針」「島根県CALS/ECアクションプログラム」を策定、公表され、これにより県内におけるCALS/ECの導入が進められていきます。

このプランの中で島根県の電子入札は、2004年度：数件～2007年度：本格運用に向け、順次拡大され、システムは国土交通省と同じものを購入～カスタマイズして使用されます。

◆島根県の電子入札スケジュール

整備項目	2002 (H14)年度	2003 (H15)年度	2004 (H16)年度	2005 (H17)年度	2006 (H18)年度	2007 (H19)年度
実証実験	実験					
電子入札システム		基本設計	導入			
関係様式の統合 入札執行业領等の改正		検討 運用検討	改正			
電子入札			一部運用※(順次拡大) ・数件 ・300件程度 ・2000件程度			本格運用

※一部運用の対象案件数は、
2004年度：対応可能な案件について数件
2005年度：業務、工事ともにH13実績の約5%を目安とする
2006年度：業務はH13実績の約40%、工事はH13実績の約30%を目安とする

したがって、もうそう遠くない時期に広く電子入札に取り組むことになり、そのためには早く対応を進めておく必要があります。

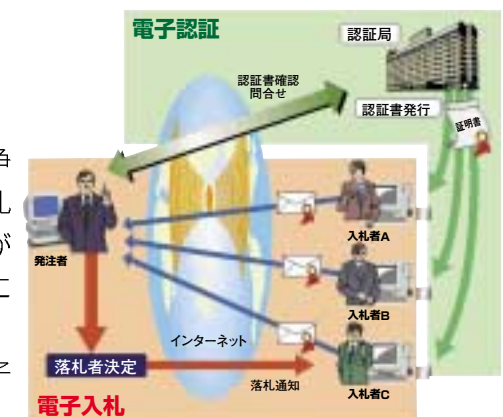
ここではもう一度、電子入札の“しくみ”と“流れ”及び“準備”について紹介します。

I. 電子入札の仕組み

右図は電子入札の概念です。

電子入札はインターネットを利用し、競争参加資格確認申請・通知、応札・開札、入札結果の通知・公開など、従来と同様なことが行われ、各受注者は会社に居ながら、入札に参加出来ます。

この電子入札を安全に行うためには、電子認証システムの利用が必須となります。



出典元：国土交通省/レフレット

II. 電子入札導入におけるメリット

電子入札の主なメリットとしては、以下の3項目がよく挙げられます。

- 競争性の確保、受注機会の拡大
- 建設コストの縮減 〈情報確認のための移動コストの減少、時間と場所を選ばない〉
- 事務の効率化 〈入札に伴う書類作成、送付業務の自動化による事務の効率化〉